

7月18日（木） もう教育部門4「点字の筆記具」

点字を書く道具はいくつかあります。

1. 点字盤

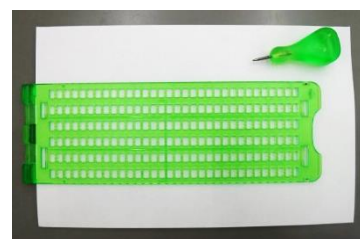
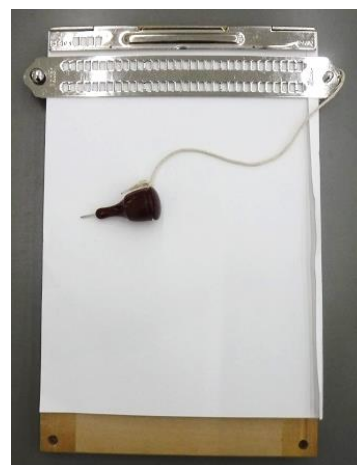
点字盤は点字板、定規、点筆の3つの道具からできています。

点字板に専用の点字用紙をセットして、定規の四角の枠の中に点筆で点を打っていきます。このとき、点字用紙にはくぼみがつきます。点字を読む時は盛り上がった点（凸面）を読みますので、裏から書いていることとなります。

点字を読む時と点字盤で書く時は、点の位置の左右が逆になります。ですから点字盤では右から書っていきます。

点字盤の使用に取り組み始めたばかりの児童生徒は左右が逆になった点字を書くという「鏡文字」の間違いが起こりやすいので注意が必要です。

なお、点字盤には小さな携帯用も数種類あります。



2. 点字タイプライター

代表的なものとして、パーキンスブレイラーがあります。点字盤は1点ずつ点筆で打つのに対して、タイプライターでは6点を同時に打つことができます。

パーキンスブレイラーは書いた文字が凸面ので出てくるので、書いた文字をそのまま読むことができます。大きくて重いですが、点字を書く時の導入には適しています。

この点字タイプライターも、他に数種類あります。



3. その他

筆記具ではありませんが、生徒に点字の資料を用意するとき、パソコンで編集をして点字プリンタで点字印刷をして渡すことが多いです。点字プリンタを用いることで、同じ資料をいくつも印刷して作ることができます。